

## トレンドCHECK 1

# インテリアチューンの巻

機能もノリも一挙両得  
インテリアもトータルチューン  
て元気もの!!



オリジナルはRX-7(FD3S)だが、ダッシュボードをオリジナルマイフするとかなり雰囲気が変わる。チューンドパワーに必須の追加メーター類は視認性重視の位置にセット。センターコンソールに制御系パーツをビルトインし、オリジナルのオーディオ類はナビシート側へ移動(しかし、シフトレバー前方に装着したリモコンスイッチでドライバーも操作可能だ)。こうした追加パーツのフィッティングを前提としての一体成形デザインなら、コンプリートカーも超えられるぜ。



「見える、  
新たな救世主の  
誕生が!」



RE雨宮製のGRddy 7-IIIのコクピット。ノーマルデザインを踏襲しながらも、コンプリートらしくガルウィングのボディデザインに負けない新しさを持つ。

巷の走り屋仕様マシンだって、チューンドカーであれば、決してインテリアもノーマルじゃないのは当然。シートやステアリングのみならず、追加メーターや各種のエンジンチューン制御装置、またレーダー探知機や車載テレビ、オーディオなどアクセサリー類などなどが装着するともいえるが、いよいよそんなインテリアチューンも、一步進んだトータルセットアップが最新流行の気配だ。

なにが最新かといえば、今まで、メー

ターも電子パーツ類もエンジンチューン

などによって必要になったものを装着す

るのに、いかにカッコよく見えるよう

するか、が目的だったのに對し、これか

らは、その機能性を重視したインテリア

そのものを主役に捉える感覚だ。

外観でエアロバーツを装着してオリジ

ナリティを見せるように、インテリアも、

例えばダッシュボードを一体成形した二

ユーデザインタイプを作りなおしてみる。

RE雨宮製のGRddy 7-IIIのコクピット。

ノーマルデザインを踏襲しながらも、コン

プリートらしくガルウィングのボディデザ

インに負けない新しさを持つ。

た。また、ライトスイッチやハザードスイ

ッチなどもより走り屋向けにセットでき

る。オーディオや空調類の操作系をリト

ラクタイプタイプにして普段は運転に必

要なメーター・レバーだけを露出させた

りして、レーシングカーのような雰囲気

を作ることもできる。当然、シートや室

内トリムなんかも改修範囲に入れられる。

また、ウケ狙い派なら、例えば「シリビ

アのノーマルボディに乗り込んだら、中

はフェラーリだったなんて芸当もあり

だ。

こちらはすでに市販されているHKSのエレクトリックコンソール。HKS製電子パーツをすきり装着できる専用ユニットだ。



こちらはすでに市販されているHKSのエレクトリックコンソール。HKS製電子パーツをすきり装着できる専用ユニットだ。

と、いうように、インテリアのチューンメントを考えると、そのデザインコンセプトをトータルイメージで作り上げるコンセプトを考えると、そのデザインコンセプトはとたんに無限大のごとく広がっていく。つまり、いろんな攻め方ができる分、チューンの魅力も無限大ってことだ。

こうしたトータルインテリアチューン

は、現在では、個人レベルでもチューナー

レベルでも、ワンオフのメイクがほと

んどだが、これからは、エアロバーツの

ようにダッシュボード一体成形キットな

んで形で、注目される存在になるはずだ。

にしろ攻め甲斐はいっぱいある。流行

前に、ぜひ、流行らせたい。

うワケではないが、そろそろ本格的にない

りつのあるターゲットだ。

インテリアは、エンジンやサスペンシ

ョンチューンのような性能重視目的とい

うより、カスタムボディチューンの流れ

を汲むファッショニズムが強い。オ

トサロンのショーカーなどに見られるコ

ンプリートチューンには、必ずインテ

リアまでハイセンスな改造が施されてい

るものだ。

巷の走り屋仕様マシンだって、チュ

ーンドカーであれば、決してインテリアも

ノーマルじゃないのは当然。シートやス

テアリングのみならず、追加メーター・や

各種のエンジンチューン制御装置、また

レーダー探知機や車載テレビ、オーディ

オなどアクセサリー類などなどが装着し

てある。これも、工夫次第でそれでじゅ

うぶん、独自の個性派チューンをしてい

るともいえるが、いよいよそんなインテ

リアチューンも、一步進んだトータルセ

ットアップが最新流行の気配だ。

なにが最新かといえば、今まで、メー

ターも電子パーツ類もエンジンチューン

などによって必要になったものを装着す

るのに、いかにカッコよく見えるよう

するか、が目的だったのに對し、これか

らは、その機能性を重視したインテリア

そのものを主役に捉える感覚だ。

外観でエアロバーツを装着してオリジ

ナリティを見せるように、インテリアも、

例えばダッシュボードを一体成形した二

ユーデザインタイプを作りなおしてみる。

RE雨宮製のGRddy 7-IIIのコクピット。

ノーマルデザインを踏襲しながらも、コン

プリートらしくガルウィングのボディデザ

インに負けない新しさを持つ。

た。また、ライトスイッチやハザードスイ

ッチなどもより走り屋向けにセットでき

る。オーディオや空調類の操作系をリト

ラクタイプにして普段は運転に必

要なメーター・レバーだけを露出させた

りして、レーシングカーのような雰囲気

を作ることもできる。当然、シートや室

内トリムなんかも改修範囲に入れられる。

また、ウケ狙い派なら、例えば「シリビ

アのノーマルボディに乗り込んだら、中

はフェラーリだったなんて芸当もあり

だ。

こちらはすでに市販されているHKSのエレ

クトリックコンソール。HKS製電子パーツをす

きり装着できる専用ユニットだ。

と、いうように、インテリアのチューン

メントを考えると、そのデザインコンセ

プトをトータルイメージで作り上げるコンセ

プトを考えると、そのデザインコンセ

プトはとたんに無限大のごとく広がっていく。

つまり、いろんな攻め方ができる分、

チューンの魅力も無限大ってことだ。

こうしたトータルインテリアチューン

は、現在では、個人レベルでもチューナー

レベルでも、ワンオフのメイクがほと

んどだが、これからは、エアロバーツの

ようにダッシュボード一体成形キットな

んで形で、注目される存在になるはずだ。

にしろ攻め甲斐はいっぱいある。流行

前に、ぜひ、流行らせたい。

うワケではないが、そろそろ本格的にない

りつのあるターゲットだ。

インテリアは、エンジンやサスペンシ

ョンチューンのような性能重視目的とい

うより、カスタムボディチューンの流れ

を汲むファッショニズムが強い。オ

トサロンのショーカーなどに見られるコ

ンプリートチューンには、必ずインテ

リアまでハイセンスな改造が施されてい

るものだ。

巷の走り屋仕様マシンだって、チュ

ーンドカーであれば、決してインテリアも

ノーマルじゃないのは当然。シートやス

テアリングのみならず、追加メーター・や

各種のエンジンチューン制御装置、また

レーダー探知機や車載テレビ、オーディ

オなどアクセサリー類などなどが装着し

てある。これも、工夫次第でそれでじゅ

うぶん、独自の個性派チューンをしてい

るともいえるが、いよいよそんなインテ

リアチューンも、一步進んだトータルセ

ットアップが最新流行の気配だ。

なにが最新かといえば、今まで、メー

ターも電子パーツ類もエンジンチューン

などによって必要になったものを装着す

るのに、いかにカッコよく見えるよう

するか、が目的だったのに對し、これか

らは、その機能性を重視したインテリア

そのものを主役に捉える感覚だ。

外観でエアロバーツを装着してオリジ

ナリティを見せるように、インテリアも、

例えばダッシュボードを一体成形した二

ユーデザインタイプを作りなおしてみる。

RE雨宮製のGRddy 7-IIIのコクピット。

ノーマルデザインを踏襲しながらも、コン

プリートらしくガルウィングのボディデザ

インに負けない新しさを持つ。

た。また、ライトスイッチやハザードスイ

ッチなどもより走り屋向けにセットでき

る。オーディオや空調類の操作系をリト

ラクタイプにして普段は運転に必

要なメーター・レバーだけを露出させた

りして、レーシングカーのような雰囲気

を作ることもできる。当然、シートや室

内トリムなんかも改修範囲に入れられる。

また、ウケ狙い派なら、例えば「シリビ

アのノーマルボディに乗り込んだら、中

はフェラーリだったなんて芸当もあり

だ。

こちらはすでに市販されているHKSのエレ

クトリックコンソール。HKS製電子パーツをす